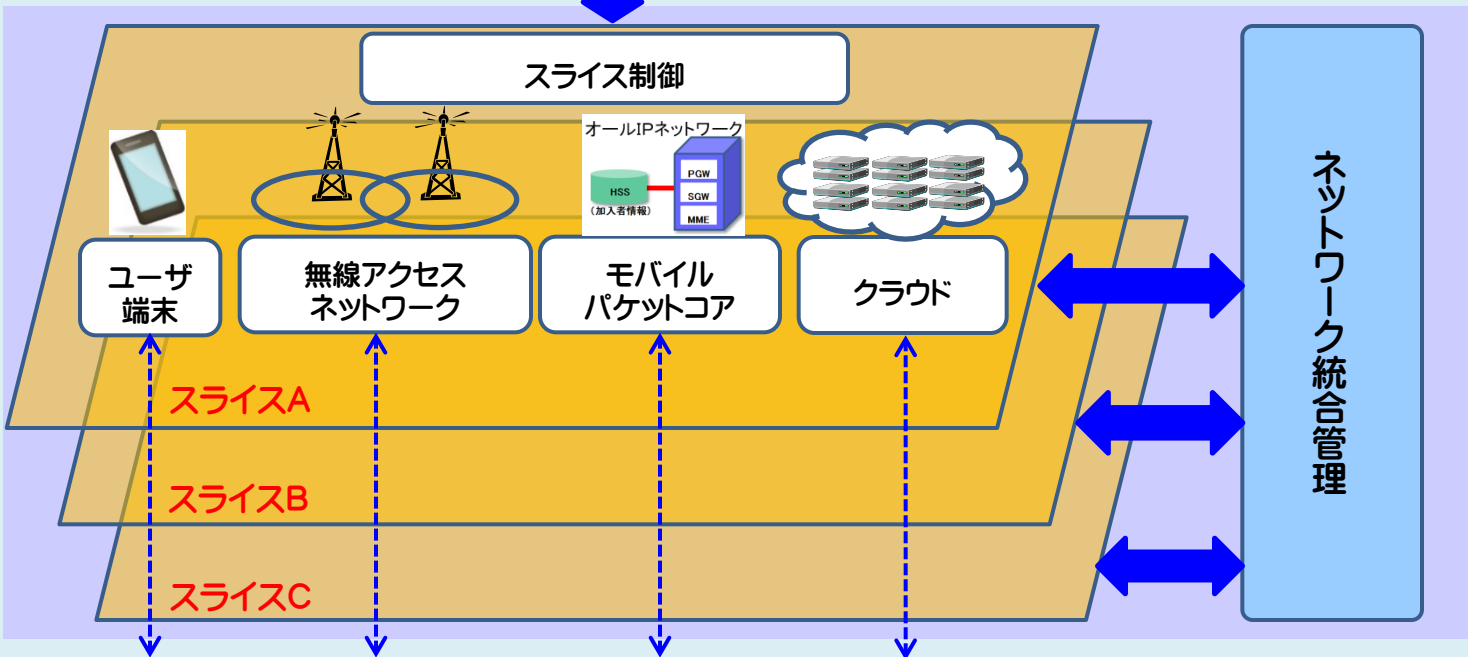


- ネットワークの要求条件や機能アーキテクチャ等を検討
- 2015年6月から活動してきたフォーカスグループ(FG IMT-2020)における標準化ギャップ分析、ネットワークソフト化等の検討結果を踏まえて、2017年より勧告策定作業を開始予定

アプリケーションとサービス (M2M、IoT、コンテンツ配信等)

API (アプリケーションプログラミングインタフェース)



5Gに求められる要件

(ITU-R 勧告 M.2083 「IMTビジョン勧告」)

- 有線に匹敵する超高速性、超低遅延性
- センサーネットワーク等における多数機器の同時接続

<主要性能>

- ✓ 最高伝送速度 10Gbps ※ (現行LTEの100倍)
※一定の条件下では、最大20Gbps
- ✓ 100万台/km²の接続機器数 (現行LTEの100倍)
- ✓ 1ミリ秒程度の遅延 (現行LTEの1/10)
- ✓ 10Mbps/m²システム容量 (現行LTEの1,000倍)
- ✓ 低消費電力 (高エネルギー効率)
- ✓ 周波数の有効利用



これらを支えるネットワーク (非無線部分)の検討が必要